

### 1 チップレバーを倒し非常制動がかかる。

第1チップレバーは車両が所定の速度以下で進入した場合は、動作しないようになっている。

(2) 車両が所定の停止位置をこえた場合、すなわち運転手が巻き過ぎた場合

車両が第1チップレバーを通過後、所定の停止位置をこえて進入すると、第2チップレバーを倒し、第1チップレバーと同様に非常制動機が動作する。

第2チップレバーは車両速度のいかんにかかわらず動作するようになっている。

さらに車両が進入した場合、車両のストライカーはリミットスイッチに当たり、油入しゃ断器をしゃ断して巻揚機の非常制動がかかる。このリミットスイッチは主幹制御器と電氣的に連動されていて、運転手が誤って電動機を反対方向、すなわち巻揚方向に始動回転して、車両がリミットスイッチを通過した場合、または車両が停止位置をこえてリミットスイッチを通過した場合等で、いったん動作するとつぎの始動の際は正しい方向、すなわち車両を巻き下げる方向でないと、運転ができないようになっているものである。

### 3 車両の保安装置

#### (1) 乗務員が急停車を必要とした場合

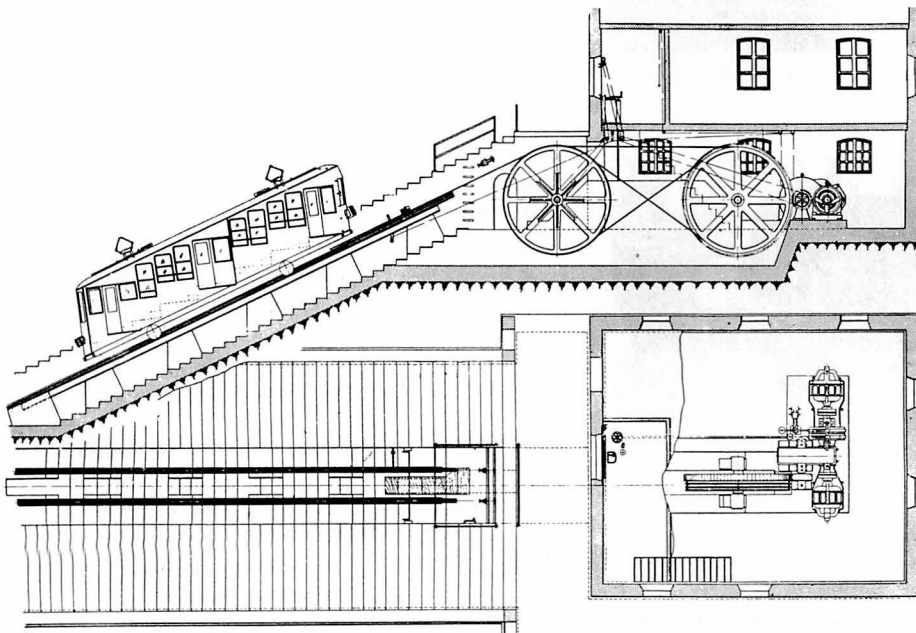
車両内に装置した非常用押ボタンを押すと、トロリー線を経て巻揚機室の非常電流継電機を動作させ、自動的に電動機の電源をしゃ断するとともに、巻揚機の非常制動機が動作して運転が停止される。

#### (2) ロープが切断または弛緩した場合

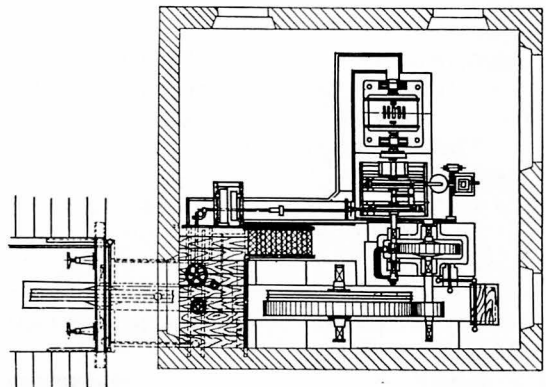
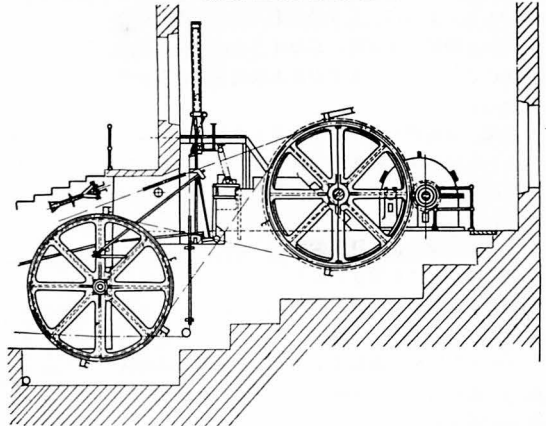
自動的に車両の自動制動機が動作し、車両はただちに停止されるとともに、車両の自動制動機に取付けられた、非常用制動運動開閉器（安全開閉器）が作用し、非常用押ボタンを押した場合と同様に電動機の電源がしゃ断され、巻揚機の非常制動機が動作して巻揚機の運転が停止される。（秀平一夫）

こうさくてつどうようまきあげき 鋼索鉄道用巻揚機 鋼

1. 鋼索鉄道巻揚機配置図 (1)



2. 鋼索鉄道巻揚機配置図 (2)



索鉄道の車両を運転する機械で、主索輪を巡るロープの両端に車両が緊定され、主索輪を回転することによって、車両は上下

に交互に運転されるものである。

巻揚機は多く山頂駅の運転室の下機械室に設けられ、動力には起動および操作が容易な電動機が使用される。

電動機の回転は減速歯車を経て、ロープを巻きつけた主索輪に伝わり、ロープが巻き揚げられ車両が運転されるものである（図-1・2）。

#### 1 巻揚用電動機

電動機は3相交流誘導電動機が多く使用されているが、直流電動機によっているものもある。

電動機の電圧は3,300Vのものが多く、まれに220Vの低圧のものもある。

電動機の容量は線路勾配（こうばい）、曲線、車